

平成28年度 横浜国立大学大学院国際社会科学府
専門職学位課程 法曹実務専攻（法科大学院）

法学既修者コースA日程入学試験

民事系科目

時 間 13:00～15:00

●注意事項（よくお読みください）

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 自分の受験番号と机の上の受験番号が同じであることをよく確かめてください。
3. 時計のアラーム、携帯電話等の電源は切ってください。
4. 机の上に置いてよいものは、①受験票、②筆記用具（鉛筆、ペン、消しゴム）、③鉛筆削り（電動式を除く）、④時計（携帯電話やPHSを時計として使用することは認めない）、⑤メガネ、⑥目薬、⑦ティッシュペーパー、⑧ハンカチです。これらは、予め机の上に置いておいてください。
5. 上記4で掲げた試験のために必要なもの以外は、かばんに入れて椅子の下に置いてください。電源を切った携帯電話も、身につけず、かばんに入れてください。
6. 配布物は、①問題冊子、②解答用紙、③下書き用紙、④六法の4種類です。足りないものがあったら、挙手で合図し、試験監督にその旨申し出てください。
7. 解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を記入してください。解答用紙は、全部で5枚あります。そのすべてに受験番号と氏名の記載欄がありますので、漏れなく記入してください。なお、解答用紙はホチキスで綴じられていますが、その針は外さないでください。
8. 試験問題は、問題1～5の5つがあります。必ず指定の解答用紙を使ってください。解答用紙はそれぞれ両面になっています。
9. 試験時間は、120分です。中途退席は原則として試験開始後40分まで認めません。また、中途退席者は、再度入室することができません。試験終了直前の10分間も退席できませんので、よく注意してください。ただし、気分が悪くなったときや、トイレに行く必要があるときなどは、近くの監督者に挙手で合図し、遠慮なく申し出てください。
10. 試験開始後、受験者本人であることの確認（写真照合）を行います。その際は、監督者にご協力ください。

以下の5問、**問題1**から**問題5**にすべて解答せよ。

(配点：全問とも50点)

問題1

以下の事実関係を読み、設問に答えなさい。

【事実関係】

Aは、Bが所有する土地（以下「本件土地」と称する）のそばに、地下鉄の駅が設置されるとの情報を入手した。Aは、地下鉄の駅が設置されれば、地価が大きく上がると考えたため、Bに対して本件土地を購入したい旨の申し入れを行った。その後、契約交渉の結果として、AとBは、市場価格よりも高い価格で売買することについて合意をし、売買契約（以下「本件契約」と称する）が成立した。なお、Bが、本件土地のそばに地下鉄の駅が設置されるとの情報を得ていないようであったため、Aは、本件土地のそばに地下鉄の駅が設置されることを購入の理由としていることを、Bに対して契約交渉の段階では告げることはなく、またAとBの間で交わされた本件契約の契約書においてもそのような事実の記載はなかった。

AとBの間の契約が成立した数ヶ月後、本件土地のそばに地下鉄の駅が設置されるとの報道がなされたが、すぐに、地下鉄を運営する法人からそれを否定する通知が示され、本件土地の近辺に地下鉄の駅の設置がなされないことが確定した。

【設問】

Aは、錯誤を理由として、自らの意思表示の無効を主張した。Aの主張は認められるか検討しなさい。

問題2

種類物売買の目的物に隠れた瑕疵があった場合について、民法 415 条の債務不履行責任を問う場合と、民法 570 条の瑕疵担保責任を問う場合の違いについて、具体例を挙げて説明しなさい。

問題3

共同相続の場合における遺産の共有の法的性質について、具体例を挙げて説明しなさい。

問題 4

約束手形を偽造して振り出した者は、手形法上、どのような責任を負うのか。簡潔に論じなさい。

問題 5

証明責任（客観的証明責任）という概念の定義を述べた上で、この概念が民事訴訟においてどのように機能するか、具体例を挙げて説明しなさい。